



奥 陽治
公明党
(40分)

経済・雇用対策は

問 ①若年者の就職状況と支援は。

②福祉・医療分野に特化した産業団地についての考えは。

答 ①平成27年度の市内3大学の就職者数1065人の内、市内企業への就職者数は354人である。就職支援については、就職活



生田 政代
公明党
(35分)

児童虐待への対応は

問 児童虐待の早期発見につながる取り組みは。

答 生後4カ月までの乳児のいる家庭全てを訪問し、育児等に関する不安や悩みを聞き、必要な支援につなげる「こんにちは赤ちゃん訪問事業」を実施している。

動支援セミナーや個別相談、企業見学会などを実施している。また本年度から首都圏等に在学中の大学生と本市内企業の交流会を実施することとしている。さらに、本市および府中市内に立地する企業など約300社で構成する福山地方雇用対策協議会と連携した就職ガイダンスの開催や企業と学校などの交流会も実施している。

②介護・医療機器等の分野は、今後ますます成長すると考えるが、業種を絞ることで長期間未分譲となる可能性もあるため、十分勘案しながら検討すべきと考える。

特定健康診査の現状は

問 特定健康診査の受診率向上に向けての取り組みは。

答 受診しやすい環境整備、全ての対象者への受診勧奨等に取り組んでいる。受診しやすい環境整備として、平成24年度から自己負担を無料とし、また、スタッフ全員が女性のレディース検診等を実施している。受診勧奨としてコールセンターの活用、保健師などの職員OBによる電話勧奨等を行っている。



門田 雅彦
公明党
(40分)

食品ロス削減の取り組みは

問 まだ食べられるにも関わらず廃棄処分されてしまう食品ロス削減の取り組みは。

答 国では、食品ロス削減に向けて、食品事業者と消費者、行政の連携による国民運動を強化することとしている。本市においてもこれまで「ダンボールコンポスト」



塚本 裕三
公明党
(45分)

本市の財政状況は

問 本市の財政状況の評価は。

答 平成27年度決算では、経常収支比率は中核市45市中10位、実質公債費比率は12位とおおむね上位にあり、将来負担比率も含め主要な財政指標は前年度より改善、市債残高も5年連続で減少し、本市は健全な財政状況にある。

の活用による生ごみの堆肥化や、水キリ、食キリ、使いキリの「3キリ」運動の啓発を行ってきた。今後とも、国・県や食品事業者市民団体などとともに連携し、食品ロスの発生・削減について啓発に努め、食品リサイクルを促進していく。



ごみ処理の今後の展望は

問 今後の福山リサイクル発電事業は。

答 福山リサイクル発電事業については、ダイオキシン類の発生抑制や温室効果ガスの削減、高度なエネルギーの有効利用、最終処分場の延命化など循環型社会の構築に貢献してきた。本市としても固定価格買取制度の適用が平成35年度までであることから、延長を基本に考えている。